

## 第2章 コミュニティ

### 注目企業② eグループ株式会社

### ウェブと電子メールを統合して提供 高い技術力で他サイトとの差別化を図る

#### 米国学生が始めたeグループ

1998年6月、米国スタンフォード大学コンピュータ学部でコンピュータを利用した人間的デザインやコラボレーション（共同作業）の研究プロジェクトに従事していた博士課程の学生3人が、アパートの一室で「eGroups」という会社を設立。インターネットのコミュニティという概念をさらに広げるべく、電子メールとインターネット上のグループウェア的なアプリケーションを統合した無料グループメールのサービスを開始した。担保も資産もなく、アイデアと知力しか持たない大学院生に、8月に1億円、12月には6億円の出資がベンチャーキャピタルから行われ、1999年1月には、米ヤフーを育てたマイク・モリッツ氏が非常勤取締役として就任。事業提携先やプロの人材紹介、企業戦略や財務戦略設定での助言をすべて無料で提供している。現在、設立してから20か月で世界中の1500万人のユーザーに1日1億通以上のメールを配信する規模に成長

(AOLと並び、世界最大規模)。2000年7月には米国NASDAQで株式公開予定である。

一方、日本でのサービスは1999年8月24日から始まった。それから約7か月、3月末時点で3万を超えるユーザーが4万6000を超えるグループを作り、総ユーザー数は44万を超え、月に十数万のユーザーが新規に登録されている(資料2-2-1)。

#### eグループのビジネスモデル

eグループで提供している「グループメール」とは、

- ①メールリスト
- ②掲示板
- ③共有フォルダ (1グループ20MBまで)
- ④グループ予定表と総合予定表
- ⑤投票・アンケート
- ⑥データベース
- ⑦チャット
- ⑧名簿と自動管理機能

といった機能を統合したもので、すべてウェブ上で無料提供されている。

これらグループメールに所属する人々は、大抵自分の仕事仲間や趣味仲間、友人・家族などであるため、属性が明確になりやすい。eグループではこれらのグループに向け、絞り込みの効いた効果性の高いメール広告を配信しており、これがグループメール事業を支える重要な収益源になっている。

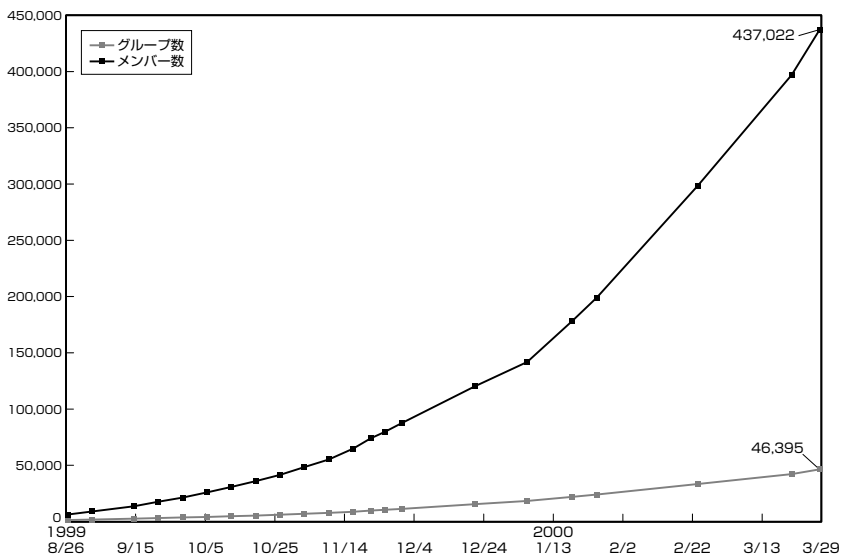
#### 2000年はグループメール元年

無料メールリストを提供している「Infocast」(旧DNS)と「FreeML」両社は、1999年末に揃ってウェブ上でのメールリスト作成や過去ログの表示機能などを追加した。ウェブと電子メールを統合した無料インターネットコミュニティサービスの幅は、今後ますます広がっていくだろう。

広帯域の時代になれば、通常のメールだけでなくボイスメールやビデオメールの需要も増大し、サービス提供側の負担も大きくなる。それでも遅延なく1日数億通のメールを配信したり、膨大な蓄積データから瞬時にデータを表示したりといった高い技術力を維持していけるか。グループメール会社の生き残りの鍵はその辺にあるだろう。

(大山彰久 eグループ株式会社代表取締役社長)

資料2-2-1 eグループのユーザー数とグループ数



出所 eグループの資料を元に作成

企業データ	
1.	URL: <a href="http://www.egroups.co.jp">http://www.egroups.co.jp</a>
2.	設立: 1999年1月26日
3.	資本金: 1億500万円
4.	従業員数: 8名



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)